

「自然ふれあい施設」のソフト面に関するアンケート調査

青木雄司*

Questionnaire result on the soft side of interpretive centers in Japan.

Yuji AOKI*

I はじめに

今世紀は環境の時代とも言われるように、自然ふれあい施設であるビジターセンター・ネイチャーセンター等の重要性がますます高まっている。一方では、限られた予算のなかで職員の質の向上・創意工夫がより一層期待されている。

こうした時代の流れの中、神奈川県立秦野ビジターセンターでは、今後の活動・展望の検討のための基礎資料とすることを目的として、ビジターセンター・ネイチャーセンター等を対象に活動・職員・情報収集などのソフト面に関するアンケート調査を行った。

本稿では、アンケート項目のうち、プログラム参加費および施設の活動評価を中心に回答いただいた代表的意見を紹介し、他は付表で報告したい。

なお報告するにあたって紙面の都合上、全ての項目集計及びアンケートの生データを掲載していないことを承知願いたい。

II 調査方法

全国の自然ふれあい施設を抽出し、アンケート調査を行った(付図1)。施設の抽出に関しては、自然環境保全整備フォーラム(2002)から施設の名称、職員体制などを考慮した。

2003年9月8日、101施設にアンケート用紙を送付し、締切を2003年9月末とした。回答は71施設から得た(付表1、付図2)。

III 調査結果

1 プログラムについて

(1) 今後のプログラム参加費について

今後の参加費が未定なのは21施設(4施設で見直し中)、据え置きが24施設であった。

①「未定」を選んだ施設の代表的意見

- ・公募型行事に関しては据え置くが、有償プログラムを展開予定のため未定。
- ・トレッキングツアーについては、今年度から開始した事業のため検討の余地がある。
- ・参加費徴収の方向で検討中。
- ・現在の金額を見直し中。
- ・特に検討していない。

②「据え置き」を選んだ施設の意見(一部)

- ・観察会等は気軽に参加できるよう0円または500円が適当。講習・講座ものは一人が負担するのに妥当なのは8,000～8,500円/日ぐらいと思う。
- ・現行通りの予算に施設の持つ行事予算を加えているため。

* 神奈川県立秦野ビジターセンター (〒259-1304 秦野市堀山下1513)

- ・予算上、条件等によりかけられる保険が限定されるため。
- ・保険代、材料代、宿泊代に変動がないため。
- ・当施設では施設パンフレットも有料販売(50円)としていて、必要とする側が負担すべきと考えています。参加費をいただくことも妥当と考えています。

(2) プログラム参加費についての代表的意見

- ・特別な道具を使う場合や、資材費があきらかにかかる場合は実費負担でも良い。きちんと料金をもらった方が参加者も責任をもって使用、参加してくれるのでは。
- ・有料の方が、参加者にとっても主催者にとっても良い緊張感が生まれると思います。
- ・保険代としての参加費は負担してもよいのでは。工作などは無料より有料にした方が参加者も自分の作品に愛着を持ちます。いたれり、つくせりの行事は考えものです。
- ・とるべきでない。
- ・参加者本人にかかる部分(保険代、資料代)は実費負担にした方が、全ての県民に公平だと考える。
- ・実費については当然のことながら参加者に負担してもらいたいものと考えている。さらに、観察会等の案内(指導)をボランティアだけに頼ってはいられないので、人件費(指導者)の一部負担を今後は考えていきたい。
- ・毎日定期的に行うのであれば、有料にしてプログラムを受けるにはお金が必要という意識を持たせるべきと思う。
- ・参加費は一律でないと考えております。経験や意識の低い対象者には無料で、逆に高い対象者にはステップアップ的なもので有料とする。受益者負担のスタイルが望ましいと思います。
- ・参加費、入館費も含め有料にする必要がある。行政の予算は厳しいのと、利用者負担という考え方で、収入を環境保全やハードの整備、ソフトの充実にあてていきたい。利用者に自然はタダでないことを知ってもらいたい。
- ・受益者負担の考えに基づき、高品質なプログラムを提供している。
- ・無料のプログラムも将来的には、保険代などを集めるようになるかもしれない。
- ・通常の入館料が課せられているので、行事参加者は免除としています。そのため参加費徴収は考えていません。
- ・参加者の参加意識啓発のため、原則として自己負担としている。
- ・人件費・利益は考えていない。参加者には実費。
- ・ビジターセンターと密接な関係をもっているボランティア団体があり、この団体の活動で事業も行われていれる。したがって基本的に無料で今まで経過してきたが、ボランティアの負担も大きいために考える時にきていると思う。

2 施設活動について

(1) 活動の評価に対しての代表的意見

- ・類似施設が多くなる中、各施設の特徴が求められている。また施設間のネットワークも今後の課題となるのでは。そうなることでその役割もはっきりとしてきて、その施設の存在意義がより明確になると思います。
- ・施設の目的にそってどんな事業をすすめることができたのか。ア. 地域的な視点、イ. 広域的な視点からそれぞれ客観的に評価することが必要かと思っています。
- ・“プログラム参加者数・プログラム数・リピーター数・入館者数”を満たすとのおのずから“自然公園の貢献度”・“地域への貢献度”へと繋がります。これからの時代は、環境教育面(総合学習など)への対応(教師との連携など)が重要と思われます。日常的なビジターへの対応はスタッフが充分いと解説や案内などが出来ますが、評価に繋げることは難しい(ビジターの受け取り方は千差万別など)。
- ・来館者アンケート等を通じて、意見・ニーズの収集に努めている。それを運営に反映させ、評価につながればと考えている。
- ・ビジターセンターの評価は、自然公園、地元等の貢献度が第一かと思われるが、それらの具体的に表す尺度が難しい。プログラム参加者、来館者などからの“口コミ”でセンターの存在価値が認知されていくことが大切ではないか。但し、これらも具体的、定量的に計ることは大変難しい。
- ・来園者からは高い評価があった場合でも、市役所からも同じ評価があるとは限らない。第三者から

の評価も必要ではないか。

- ・デザインされたプログラムにより、施設の活動の目的が達成されたかどうか。市(または県・町)の上位施策の中で、どのように位置づけられ、そしてどのような役割を果たしているのか。
- ・何を評価すべきかは、難しい問題であると考えている。目的は「利用者に尾瀬のふさわしい利用方法を啓発するとともに、豊かな自然の一端に触れ自然の大切さを認識してもらうこと」としていることから、これに質する実質的な成果を評価の対象とすべきではないかと考えている。
- ・自然の保護、回復に関する様々な取組等成果の数量化が難しいものに対する評価をどうするのか考えてもらいたい。
- ・自己評価を含む、評価システムを作るべきだと考えます。
- ・活動の目標及び具体的なプログラム等の設定プロセス及び評価方法に関するコンセンサスが必要。
- ・社会的ニーズへの貢献度。数より質の評価。基本的には、年度当初に立案する具体的な達成目標の達成度。この達成目標が委託者、受託者双方で合意し、共有されていなければならない。
- ・何を目的とした施設かということ。その目的を達成しているかということで評価すべき。入館者数に表れない部分の見えない評価も必要。
- ・生物多様性などの維持についても評価基準があればと思います。
- ・体験活動を前提とした施設であるので、参加者の評価、意見を最優先されるべきものと考えている。
- ・とにかく目に見える数字(入館料や入館者数)などで評価されがちであるが、内容やその効果についての評価が大切である。何らかの数値等の目に見える形での表現手法が必要と考えている。
- ・評価がどうこうなどを考えれば、活動ができなくなる。自然のことを考えるべきである。
- ・一つ一つのプログラムや展示などでのセルフガイド等、それぞれの目的がどの程度達成されているかが重要。それによって施設としてのメッセージが市民にどれだけ伝わったかということで、施設を評価すればよいのではないのでしょうか。

IV 考 察

“自然とのふれあい”、“普及啓発”を主たる活動とする施設では、最終目標が“意識の変化”や“行動の変化”である。そのため、それらの効果はすぐに現れるものではない。

そうした中で、施設の評価については困難を伴う。今回の調査では、数値化することのできる「入館者数」や「プログラム参加者数」が、現状での重要な評価の項目となっていた。一方、理想とする評価項目については上記だけでなく、「自然公園への貢献度」、「地域への貢献度」、「リピーター数」という数値化が難しい項目や把握が困難な項目も重視する傾向があった。

施設の評価にあたって、多くの評価項目で実施されることが好ましい。今後、「自然ふれあい施設」では、各施設ごとの目的をふまえた上で、数値化が困難な項目等を扱うための手法を考えていく必要がある。

V おわりに

アンケート調査では、意見を集約しデータ化すること、著者の主観を除くことは困難を要する。また、記入に関しても、僅かな思いの差によっても違う表現になることも考えられる。

今回報告するにあたっては、選択肢などデータ化しやすい項目を中心として表記し、また意見等については可能な限り手を入れずに表記した。ただし、意見の選択に著者の主観が入っていることは否めないことを承知いただきたい。

VI 謝 辞

アンケート調査にあたって、企画・実施段階では自然環境保全センターの吉田直哉氏、データ処理では秦野ビジターセンターの柳川美保子氏に協力いただいた。また、多くの「自然ふれあい施設」に回答をいただいた。謹んで感謝を意を表する。

VI 引用文献

自然環境保全整備フォーラム(2002) 自然ふれあい施設に関する研究. 263pp, 東京.

ビジターセンター・ネイチャーセンター等に関するアンケート

2. 見込みまでにご返送いただきますようお願い申し上げます。

I. 貴施設の名称、所在地についてご記入ください。 下線部にご記入ください。

施設名: _____ F/ケー記入者: _____
 住所: 〒 _____ FAX番号: _____
 電話番号: _____
 ホームページアドレス: _____
 メールアドレス: _____
 自然公園の施設であれば、公園名をお書きください: _____
 職員数: 常勤 _____ 人 非常勤 _____ 人 アルバイト _____ 人

II. 管理運営方式についてお問い合わせいたします。 下線部にご記入ください。

①設置者: _____
 ②施設所有者: _____
 ③運営者: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。
 1. ①と同じ 2. ②と同じ
 3. 委託 (名称: _____)

III. プログラムについてお問い合わせいたします。

①どのようなプログラムを実施していますか。 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。

1. 早朝・夜間プログラム

内容: _____
 参加費: 一人あたり _____ 円
 参加費の根拠: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。 (複数回答可)
 1. 保険代 2. 資料代 3. 人件費 4. 利益 5. その他
 2. 1日のプログラム
 内容: _____
 参加費: 一人あたり _____ 円
 参加費の根拠: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。 (複数回答可)
 1. 保険代 2. 資料代 3. 人件費 4. 利益 5. その他

-1-

3. 1～2時間程のプログラム

内容: _____
 参加費: 一人あたり _____ 円
 参加費の根拠: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。 (複数回答可)
 1. 保険代 2. 資料代 3. 人件費 4. 利益 5. その他
 4. 宿泊型のプログラム
 内容: _____
 参加費: 一人あたり _____ 円
 参加費の根拠: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。 (複数回答可)
 1. 保険代 2. 資料代 3. 人件費 4. 利益 5. その他
 5. その他
 内容: _____
 参加費: 一人あたり _____ 円
 参加費の根拠: 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。 (複数回答可)
 1. 保険代 2. 資料代 3. 人件費 4. 利益 5. その他
 ②今後の参加費についてお問い合わせいたします。 該当する番号に○をつけ、下線部にご記入ください。
 1. 参加費は増え過ぎ 2. 参加費は増え過ぎ 3. 参加費は増え過ぎ 4. 未定
 理由: _____
 ③参加費について、参加者が実費を負担にすべき、無料の方が参加しやすいなどの意見がありますが、貴施設での考えがありましたらご記入ください。

-2-

付図1-1 アンケート調査票

プロジェクトワイルド (認定先: 財団法人 公園緑地財団)

ファシリター 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人

エディター 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人

自然観察指導員 (認定先: 財団法人 日本自然保護協会)

常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人

森林インストラクター (認定先: 財団法人 全国森林レクリエーション協会)

(他団体が認定する森林インストラクターは“その他”にお書き下さい)

常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人

その他

(認定先: 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人)

(認定先: 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人)

(認定先: 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人)

(認定先: 常勤 人 非常勤 人 アルバイト 人)

②職員にはどのような内部研修をしていますか。該当する番号に○をつけ、下欄面にご記入ください。

1. ある (具体的に数えてください):

2. ない

③職員はどのような外部研修を受けていますか。該当する番号に○をつけ、下欄面にご記入ください。

1. ある (具体的に数えてください):

2. ない

④職員の採用にはどのような事を重視していますか。

該当する番号に○をつけて下さい (複数回答可)。()内には優先順位を入れてください。

1. () 資格 2. () 経験 3. () 即戦力

4. () 年齢 5. () 可能性 6. () やる気

7. () 知名度 8. () 実績 9. () 専門

10. () ボランティア経験の有無 11. () 採用に関して施設では携わっていない

12. その他 ()

⑤自然体験活動を充実させるためには、職員の採用にはどのような事を重視すべきだと思いますか。

該当する番号に○をつけて下さい (複数回答可)。()内には優先順位を入れてください。

1. () 資格 2. () 経験 3. () 即戦力

4. () 年齢 5. () 可能性 6. () やる気

7. () 知名度 8. () 実績 9. () 専門

10. () ボランティア経験の有無 11. () 採用に関して施設では携わらない方がよい

12. その他 ()

V. 施設の活動についてお伺いいたします。

①貴施設に具体的な活動指針・目的が定めた文章がありますか。該当する番号に○をつけ、下欄面にご記入ください。

1. ある (具体的に数えてください):

2. ない

②自然公園の施設で、上記で「1. ある」と答えた方へ。

それは貴施設が属する自然公園で現在実施されている施策と繋がっていますか。

該当する番号に○をつけ、下欄面にご記入ください。

1. ある (具体的に数えてください):

2. ない

③上記で「1. ある」と答えた方へ。

それは、貴施設の活動を評価する基礎になっていますか。該当する番号に○をつけ、下欄面にご記入ください。

1. ある (具体的に数えてください):

2. ない

④貴施設の活動の評価はどのように行われていますか。

該当する番号に○をつけて下さい (複数回答可)。()内には優先順位を入れてください。

1. () 入館者数 2. () プログラム数 3. () プログラム参加者数

4. () ボランティア数 5. () リビーター数 6. () 自然公園への貢献度

7. () 地域への貢献度 8. () ホームページ数 9. () 利益

10. その他 ()

⑤施設の評価はどのように行われるべきだと思いますか。

該当する番号に○をつけて下さい。(複数回答可)。() 内には優先順位を入れてください。

1. () 入館者数 2. () プログラム数 3. () プログラム参加者数
 4. () ボランティア数 5. () リピーター数 6. () 自然公園への貢献度
 7. () 地域への貢献度 8. () まいページ閲覧数 9. () 利益
 10. その他 ()

⑥施設の評価についてご意見がございましたらお書き下さい。

VI. 情報の収集と提供についてお伺いいたします。

①開花や積雪、危険箇所や災害などの自然情報をどのように収集していますか。

該当する番号に○をつけ、下線欄にご記入ください。(複数回答可)

1. 職員が収集 (頻度は:)
 2. 関係機関からの収集 (どのような機関か:)
 3. 一般登山者などから収集 (収集方法は:)
 4. 山小屋や売店などから収集 (収集方法は:)
 5. ボランティアからの収集 (どのような組織か:)
 6. していない
 7. その他 ()

②集めた情報はどのように提供していますか。 該当する番号に○をつけ、下線欄にご記入ください。(複数回答可)

1. 館内の掲示板 2. 館外の掲示板 3. ホームページ
 4. メールマガジン 5. 会報 6. ちらし
 7. していない 8. その他 ()

VII. 職員の制服についてお伺いいたします。

①貴施設では制服等がありますか。 該当する番号に○をつけてください。

1. ある 2. ない

- 5 -

②上記で「1. ある」と答えた方へ。どのような制服等なのかをお伺いいたします。

該当する番号に○をつけて下さい。(複数回答可)

1. 上着 2. スボン 3. 帽子 4. 靴 5. ジャンパー 6. ベスト
 7. ワッペン 8. 胸章 9. その他

③あればいいと思う制服等はどれでしょうか。 該当する番号に○をつけて下さい。(複数回答可)

1. 上着 2. スボン 3. 帽子 4. 靴 5. ジャンパー 6. ベスト
 7. ワッペン 8. 胸章 9. その他

④制服はどのような基準で選ぶべきだと考えますか。 該当する番号に○をつけて下さい。(複数回答可)

1. 格好良さ 2. 動きやすさ 3. 目立ちやすさ 4. 汚れの目立たなさ
 5. その他

⑤あなたが知っている中でお勤めの制服があれば、その施設・団体とその理由を教えてください。

Ⅷ. このアンケートにご意見がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

- 6 -

付表1 アンケート回答のあった施設

所在地	施設名	所在地	施設名
北海道	ウトナイ湖サンクチュアリ・ネイチャー・センター	神奈川県	秦野ビジターセンター
北海道	旭岳ビジターセンター	長野県	長野県志賀高原自然保護センター
北海道	北海道海鳥センター	長野県	美ヶ原自然保護センター
北海道	阿寒湖畔エコミュージアムセンター	長野県	乗鞍自然保護センター
北海道	温根内ビジターセンター	長野県	上高地ビジターセンター
北海道	羅臼ビジターセンター	長野県	霧ヶ峰自然保護センター
北海道	塘路湖エコミュージアムセンター	新潟県	妙高高原ビジターセンター
北海道	川湯エコミュージアムセンター	岐阜県	平湯ビジターセンター
青森県	十和田ビジターセンター	静岡県	田貫湖ふれあい自然塾
青森県	十二湖エコ・ミュージアムセンター	愛知県	面ノ木ビジターセンター
宮城県	太白山自然観察の森自然観察センター	愛知県	豊田市自然観察の森
宮城県	宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	三重県	横山ビジターセンター
秋田県	秋田県玉川温泉ビジターセンター	富山県	樺平ビジターセンター
秋田県	八幡平ビジターセンター	石川県	中宮温泉ビジターセンター
福島県	浄土平ビジターセンター	石川県	加賀市鴨池観察館
福島県	尾瀬沼ビジターセンター	福井県	福井県海浜自然センター
福島県	裏磐梯ビジターセンター	滋賀県	栗東自然観察の森
茨城県	牛久自然観察の森	滋賀県	琵琶湖水鳥・湿地センター
栃木県	日光湯元ビジターセンター	大阪府	箕面ビジターセンター
栃木県	真岡市根本山自然観察センター	兵庫県	六甲山自然保護センター
栃木県	塩原温泉ビジターセンター	兵庫県	竹野スノーケルセンター・ ビジターセンター (ブルーミュージアム)
群馬県	桐生自然観察の森	兵庫県	姫路市自然観察の森
群馬県	草津ビジターセンター	和歌山県	和歌山自然観察の森
群馬県	尾瀬山の鼻ビジターセンター	島根県	三瓶フィールドミュージアム
埼玉県	あらかわビジターセンター	岡山県	岡山県鷺羽山ビジターセンター
千葉県	千葉県立館山野鳥の森	香川県	五色台ビジターセンター
千葉県	大房岬ビジターセンター	福岡県	油山自然観察の森
千葉県	勝浦海中公園ビジターセンター	長崎県	鏡瀬ビジターセンター
東京都	八丈ビジターセンター	長崎県	雲仙諏訪の池ビジターセンター
東京都	小笠原ビジターセンター	熊本県	天草ビジターセンター
東京都	東京港野鳥公園	熊本県	南阿蘇ビジターセンター
東京都	高尾ビジターセンター	大分県	長者原ビジターセンター
東京都	奥多摩ビジターセンター	宮崎県	えびのエコミュージアムセンター
東京都	山のふるさと村ビジターセンター	鹿児島県	桜島ビジターセンター
神奈川県	箱根ビジターセンター	鹿児島県	高千穂河原ビジターセンター
神奈川県	丹沢湖ビジターセンター		

(アンケート送付 101 施設、回答 71 施設)

I. 施設について

[illegible]

II. 管理運営について

信S或臨其田(在) 和權園 信S或臨其田(在) 和權園
信S或臨其田(在) 和權園 信S或臨其田(在) 和權園

II. プログラムについて

参加数		参加費増減	
早期・夜間プログラム			
講座名など(例：プロジェクトウィルド)			
参加者	参加費	総収入	参加費増減
8,400			
自然観察会			
参加者	参加費	総収入	参加費増減
1~2時間プログラム			
0-500			
レンジャー養成講座			
参加者	参加費	総収入	参加費増減
30,000または35,000			
展覧会場での自然観察会10:00~13:00			
参加者	参加費	総収入	参加費増減
500			
その他プログラム			
参加者	参加費	総収入	参加費増減
500			

年度の参加費
取
引金（観察会等）は、現金に換えては500円が限度。観察費用の一人が負担するのに相当なのは
B. 900～8,500円／日ぐらいと認む。）

[illegible]

V. 職員について

リーダー・相談活動リーダー	リーダー：常勤２人、アルバイト２人
イナゲール指導員	
「わ」のり/わが指導員	エディクター：常勤１人、アルバイト２人
自然観察指導員	
統計インストラクター	
その他	
その他	
その他	

（イ）は、同国、同族、同所、同業の諸（野）を指導して、人に倫

各人が必要源頭組織に積極的に参加している。総体的には決まていない。ちなみに私は理療省の「自然解説指導者研修」を、愛媛県立中央病院で実施した（一人が一年に一回くらいは研修に行くように予算(50,000円くらい)配りするが、愛媛県医師会）がとってある場合は名前には金が負担してくれるが、ない場合は自己負担。

山根

山根

施設No. 1

現在の信用調査事項	1. 即戦力、2. やる気、3. ポリタンテア経験、4. 経歴、5. 可能性、その他：インジヤ……であれば協賛性、グループワークでのファシリテート性（最終採録項目）
理想の信用調査事項	1. やる気、2. 即戦力、3. 実績・経歴、4. ポリタンテア経験、5. 専門、6. 資格、その他、どれもここに記したことはないが、知識は後からでも間に合う。

V. 施設の活動について

[illegible]

自然公園の振興との関係	1932年：ウトナイ湖が国営鳥獣保護区特別区になる。1991年：日本で4番目のラムサール条約登録地になる。1992年：ホイヤーセンターで増殖し野鳥救済センターを創設。1997年：ナホトカ号運油船のリービガタ汚染事故発生。1999年：国が十勝川水源地林道の中止を決定。2000年：人材育成の一環としてインターンシップ制度スタート。ウトナイ湖・南十勝野鳥保護プロジェクト。
自然公園の建設と活動計画	1：地域への賛成度。2：プログラムの参加者数。3：リーダー数
自然公園の建設と活動計画	1：地域への賛成度。2：プログラムの参加者数。3：リーダー数
自然公園の建設と活動計画	自然公園の建設と活動計画

VI. 情報について

[illegible]

Ⅶ、制限について

代表者：制園	ベスト（労働議員のみ）、新選
副代表：制園	ジャコブ、ベネット、基松
制園理事長	竹野良吉、勲也やきやなど、機軸性（防水、ポケットなど）、防着
制園総務部長	池田勉めでないが、いかにもという作業服だと思えます（ブルーグレーやグリーン・グレーのものです）。あと、膝当てはあまりますませんが、バタゴニアやモンベルのものを制園化しているところもあり、それはけっこういいなと思います。

四. アンケートに対する意図

[illegible]

図2 回答例(ウトナイ潮サンクチュアリ・ネイチャー・センター)

付表2 プログラム実施状況

実施施設	1日のプログラム			1～2時間のプログラム			宿泊型のプログラム		
	早朝・夜間プログラム	39	47	11					
内 容	スライド上映、自然観察、天体観測など	スライド上映、自然観察、講習会、スノーケリング、農作業体験、クラフトなど	スライド上映、自然観察、クラフト、草木染め、農作業体験、磯釣りなど	講習会、ハイキング、キャンプ、バードウォッチング、農作業体験など					
参加費※	無料：15施設 ～300円：7施設 300円～：2施設 金額無記入：1施設	無料：12施設 ～300円：8施設 ～500円：5施設 ～1,000円：6施設 1,000円～：6施設 金額不明：2施設	無料：30施設 ～300円：7施設 ～500円：4施設 ～1,000円：2施設 1,000円～：1施設 金額無記入：3施設	無料：0施設 ～3,000円：3施設 ～5,000円：1施設 ～10,000円～：3施設 10,000円～：1施設 金額不明：1施設 金額無記入：2施設					
参加費根拠 (重複あり)	回 答：9施設 保険代：8施設 賃料代：4施設 人件費：3施設 入館料：1施設	回 答：27施設 保険代：23施設 賃料代：14施設 人件費：6施設 材料代：6施設 交通費：4施設 利 益：1施設	回 答：14施設 保険代：12施設 賃料代：7施設 人件費：3施設 材料代：2施設 器材使用代：1施設 シャワー代：1施設	回 答：11施設 宿泊費・食費：9施設 保険代：9施設 賃料代：5施設 人件費：2施設 交通費：1施設 器材使用代：1施設 利 益：1施設					
施設例※	あらかわびじターセンター： 哺乳類観察：2,000円：保険代、賃料代、人件費	ウトナイ湖サンクチュアリ・ネイチャー・センター： 講習会(プロジェクトワイルドなど)：8,400円：賃料代、人件費、利益	田貫湖ふれあい自然塾： ガイドワークスなど： 0～1,500円：保険代、賃料代、人件費	油山自然観察の森： 講習会(プロが教える里山作業講座など)：8,000円： 保険代、宿泊費など					
	田貫湖ふれあい自然塾： ナイトハイク：バードウォッチングなど：0～1,500円： 保険代、賃料代、人件費	琵琶湖水鳥・湿地センター： バードウォッチングバスツアー： 800円(子供400円)：バス代実費	竹野スノーケルセンター・ビジターセンター： スノーケリングなど：200～2,000円：保険代、賃料代、器材使用量、シャワー代など	奥多摩ビジターセンター： ハイキング、ワサビ漬け体験など： 7,500円：保険代(500円)、賃料代(200円)、宿泊費(6,800円)					

参加費：幅がある場合には最高値をとっている。1施設でもプログラムによって費用が異なる場合がある。
施設例：(施設名：内容：参加費：参加費根拠)の順

付表3 職員の有する資格

資 格	常 勤 (人)	非 常 勤 (人)	アルバイト (人)	有資格者の いる施設数
自然体験活動リーダー	4	0	0	20
トレーナー	10	1	0	
コーディネーター	3	1	0	
インストラクター	25	7	4	
リーダー				
ネイチャーゲーム指導員	1	0	0	13
上級	0	0	0	
中級	13	7	1	
初級				
プロジェクトワイルド	5	1	0	16
ファシリテーター	27	7	3	
エデュケーター				
自然観察指導員	27	18	2	28
28				
森林インストラクター	2	2	0	4
4				
その他の有資格				
ビオトープ管理士、レクリエーションインストラクター、キャンプ指導者、日赤救急員、登山ガイド、環境カウンセラー、環境教育・環境学習インストラクターなど				

付表4 現在実施されている職員採用の基準

優先 順位	資 格	経 験	即戦力	年 齢	可能性	やる気	知名度	実 績	専 門	ボランティア経験
1		11	4	2	2	9				
2	1	4	5	1	2	10			2	1
3	1	3	2	1	3	3		2	1	3
4	1	3	1		5			1	1	
5	1		1	2	1			1	1	
6	1			1					1	1
7									1	
8								1		
9									1	
その他：協調性、ファシリテート能力										

数字は件数の合計

付表5 理想とする職員採用の基準

優先 順位	資 格	経 験	即戦力	年 齢	可能性	やる気	知名度	実 績	専 門	ボラン ティア経験
1		10	7		2	24			2	
2	2	14	4	1	5	8		2	5	2
3	2	8	6	2	6	5		5	7	
4	3	2	2	6	1			1	4	
5	1	1		4	2			1	1	1
6				1				2		
7	1								1	
8									1	
9										

その他：社交性、人柄、ボランティアコーディネート能力

数字は件数の合計

付表6 現在おこなっている施設の評価基準

優先 順位	入館者数	プログ ラム数	プログラム 参加者数	ボラン ティア数	リピー ター数	自然公園 への 貢献度	地域への 貢献度	ホームペ ージアク セス数	利益
1	33	2	3			3	1		2
2	3	7	17	1	1		2	1	1
3	2	2	9	4	3	2	2	3	
4	2			2		1	3	2	
5		1		1		1		1	
6					1				1
7						1			

その他：アンケート調査、館内自由ノート、評価を行っていない、参加者の声、数値での評価は行っていない。

数字は件数の合計

付表7 理想とする施設の評価基準

優先 順位	入館者数	プログ ラム数	プログラム 参加者数	ボラン ティア数	リピー ター数	自然公園 への 貢献度	地域への 貢献度	ホームペ ージアク セス数	利益
1	14	4	8		1	8	5		
2	5	4	14	3	3	1	5		2
3	6	6	7	3	6	2	4	1	1
4	5	3	1	3	4	1	2		
5		1		1	1	1	3	1	1
6		1			1	1	1	2	
7					2	1			

その他：入館者やイベント参加者によって評価されるべき、調査研究、施設滞在時間、入館者への対応、人材育成、展示、知名度、自然調査情報収集能力、ボランティアコーディネート能力、情報提供件数、自然環境保全活動、プログラム等の質、ボランティア活動実績

数字は件数の合計

付表8 情報収集の手段

手段	職員	関係機関	登山者など	山小屋・ 売店など	ボランティア	していない
施設 数	57	33	30	10	32	3

その他：職員が休日に収集、メーリングリスト、地域住民、マスコミ、雨量計、ホームページなど

表9 情報提供の手段

手段	屋内の掲示板	屋外の掲示板	ホームページ	メールマガジン	会報	ちらし	していない
施設数	54	15	31	4	23	3	5

その他：ファイル化し一般利用者に閲覧、関係機関などにFAX連絡、マスコミへの提供など